

VideoGate 1000

ユーザーズマニュアル

V1.0J

VideoGate 1000
ユーザーズマニュアル
Version 1.0J
January 19, 2002
Copyright © 2002 Canopus Co., Ltd.
All rights reserved.



ご使用前に

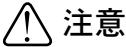
■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。



注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

■絵表示の意味



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならないことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。



警告



●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的に目のかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。



警告



●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。



●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずにはパソコン本体や周辺機器の筐体(電源ユニットなど)、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。



●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください(体内の静電気を放電することになります)。



注意



●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧いただくか、メーカーに直接お問い合わせいただいております。



●他社製品と併用されるときの注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。



●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。製品を取り扱うときは手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。

動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。



ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、Canopusおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) MS、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。



表記について

- 本書はVideoGate1000のセットアップ手順、ソフトウェアのインストール方法および基本操作について説明しています。
- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイル・オンラインマニュアルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 本書ではMicrosoft® Windows® 98 Second Edition operating system、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemおよび、Microsoft® Windows® XP Home/Professional operating systemをWindows 98 SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XPと表記します。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。画面写真は開発中のものです。

ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

カノープス株式会社

〒651-2241

神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL.078-992-6830

祝祭日および当社指定休日を除く月～金

10:00～12:00、13:00～17:00

第1章 確認 **1**

1-1	はじめに	2
	使用許諾契約書について	2
	ご使用に当たっての留意事項	2
	パッケージ内容の確認	3
	■VideoGate 1000同梱物	3
	オンラインユーザー登録について	4
1-2	動作環境の確認	5
	パソコン本体について	5
	対応OS環境	5
	当社ホームページについて	5
	VideoGate 1000で再生できるファイルについて	6
	制限事項について	6
	■再生中の動作について	6
	割り込み(IRQ)について	7
	■割り込み(IRQ)の確認(Windows 98 SE/Windows Meの場合)	7
	■割り込み(IRQ)の確認(Windows 2000の場合)	8
	■割り込み(IRQ)の確認(Windows XPの場合)	9

第2章 ボードの装着 **11**

2-1	VideoGate 1000の装着	12
	装着の手順	12
2-2	配線と接続	14
	接続コネクタ各部の名称と機能	14
	ビデオ出力端子の接続	15
	オーディオ出力端子の接続	16

第3章 インストール

17

3-1	インストール	18
	Windows 98 SEへのドライバのインストール	18
	Windows Meへのドライバのインストール	20
	Windows 2000へのドライバのインストール	22
	Windows XPへのドライバのインストール	25
	アプリケーションの一括インストール	27
	MEDIACRUISEのインストール	29
	VideoGate 1000アプリケーションのインストール	32
3-2	インストール後の確認	35
	確認の手順	35
	■インストールの確認(Windows 98 SE/Windows Meの場合)	35
	■インストールの確認(Windows 2000の場合)	36
	■インストールの確認(Windows XPの場合)	37
	リソース	38
	■リソースの競合の確認	38
	■リソース(割り込み)の変更	38
3-3	アンインストール	39

第4章 基本操作

41

4-1	基本操作	42
	VideoGate 1000を使用する	42
	MTVシリーズと併用する その1	45
	MTVシリーズと併用する その2	48

I

第一章 確認

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

この章では、VideoGate 1000のセットアップを行う前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい事項について説明します。

1-1	はじめに	2 ページ
1-2	動作環境の確認	5 ページ

1-1 はじめに

使用許諾契約書について

VideoGate 1000をご購入いただき、ありがとうございます。本製品をお使いいただくにあたって、まずはじめに付属の『Support Service Manual』のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。本製品に付属のソフトウェアをご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。この使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、本書以外のパッケージを開封せずに下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。このソフトウェア使用許諾契約は、お客様が『ディスクが入っている封筒』を開封された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノーブス カスタマーサポート

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2 カノーブス株式会社

ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的および当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

パッケージ内容の確認

VideoGate 1000のパッケージの中に、p.3～p.4の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一、不足しているものがありましたら下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

カノープス カスタマーサポート

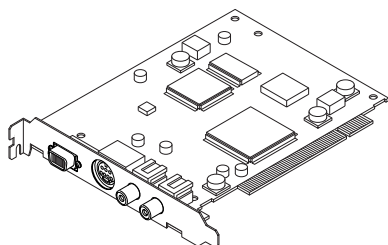
電話：078-992-5846

※ 月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00

土日祝日および当社指定休日を除く

■ VideoGate 1000同梱物

ボード本体

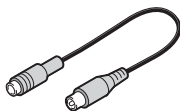


ディスク

VideoGate 1000をお使いいただくためのドライバやアプリケーションなどが付属しています。これらは、封筒の中に収められています。この封筒を開封する前に、別途付属している『Support Service Manual』の中のソフトウェア使用許諾契約の項目をお読みください。

付属しているディスクについては、封筒内の『VideoGate 1000に付属のメディア』をご参照ください。

コンポジットビデオ接続アダプタ



マニュアル

- VideoGate 1000 ユーザーズマニュアル (本書)
- Support Service Manual

ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼製品保証書

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください(ご登録いただけていない場合には、一部のサービスについてお受けいただけないものがございます)。当社よりご提供させていただいているサービスについては『Support Service Manual』をご覧ください。

ユーザー登録カードの各項目に必要な事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離れたユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。

詳しくは『Support Service Manual』およびオンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)をご覧ください。

本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼製品保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要になります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

オンラインユーザー登録について

お客様がインターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録カードをご投函いただくかなくとも当社ホームページ上でユーザー登録することができます。オンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)にアクセスしていただき、是非ご登録ください。

1-2 動作環境の確認

本製品をお使いいただく前に、VideoGate 1000を装着してお使いいただけるパソコン本体の環境を確認してください。

パソコン本体について

以下の条件を満たしている場合でもパソコン本体の問題によって正常に動作しない場合があります。以下に書かれている条件を満たしているすべてのパソコンでの動作を保証しているものではありません。

PC本体	PCIバススロット(Ver.2.1以上) とPentium III 500MHz 以上のCPUを持つPC/AT互換機。ただし、この条件に適合するすべての機種での動作を保証するものではありません。 ・PC省電力機能には対応していません。 (ドライバのアップデートで対応予定)
メモリ	256MB以上
CD-ROMドライブ	ソフトウェアのセットアップに必要です。
グラフィックボード	800×600ドット以上の解像度をHigh Color以上で表示でき、DirectDrawのオフスクリーンによるオーバーレイに対応するものが必要です。

対応OS環境

- マイクロソフト Windows 98 SE 日本語版
- マイクロソフト Windows Me 日本語版
- マイクロソフト Windows 2000 Professional 日本語版
- マイクロソフト Windows XP Home/Professional 日本語版

当社ホームページについて

VideoGate 1000をはじめとする当社最新情報をホームページ(<http://www.canopus.co.jp>)にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル(PDF形式)、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただき快適なパソコン環境を実現してください。

VideoGate 1000で再生できるファイルについて

■ 再生できるファイル

※MPEG ファイル以外は再生できません。

・ フレームレート 29.97fps/30fps

※フレームレートが30fpsの場合でも、出力時に29.97fpsとなります。そのため再生時間が長くなったり音がとぎれることがあります。

・ 画面サイズ (NTSC)

FULL (720×480、704×480)

HALF (352×480)

SIF (352×240)

QSIF (176×120)

※720×480よりサイズが小さい場合は、1倍/2倍/4倍/8倍のいずれかで720×480に収まる最大サイズで出力します。画面サイズが途中でかわるものの動作は保障できません。

制限事項について

■ 再生中の動作について

ハードディスクのシークなどによる音の途絶・画像のコマ落ちが発生する場合があります。再生時のパフォーマンスは、お使いのパソコン環境により異なります。

■ VIDEO-CD 及びDVDの映像は出力できません

■ サスペンド機能について

サスペンドには対応していません。

■ MPEG以外のファイル (AVIファイル等) のビデオ出力には対応していません。

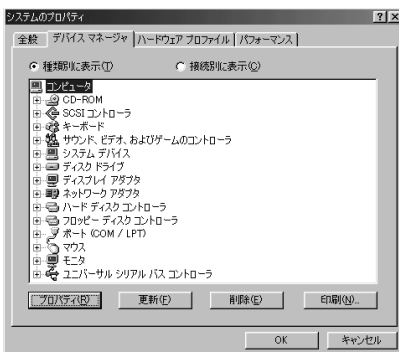
割り込み (IRQ) について

本製品をご使用いただくには、IRQの空きが1つ以上あることを推奨します。

■ 割り込み(IRQ)の確認(Windows 98 SE/Windows Meの場合)

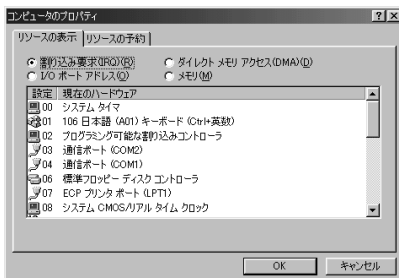
1 [スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックしてください。

2 システムのプロパティの[デバイスマネージャ]タブを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックしてください。



3 コンピュータのプロパティの[リソースの表示]タブを選択し、[割り込みの要求]のラジオボタンにチェックをつけてください。

→ 割り込み(IRQ)の空いている(使用されていない)番号を確認します。



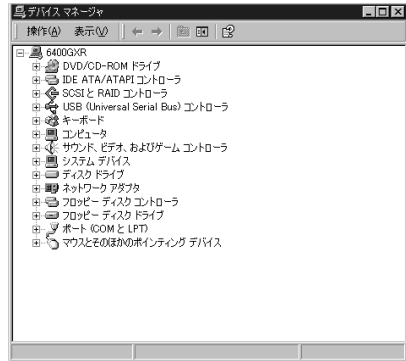
0 ~ 15 まで全ての割り込み番号が使用されている場合は、使用していない機器を取り外すか無効にすると割り込み番号の空きを作ることができます。設定方法はパソコン本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書にてご確認ください。

■ 割り込み(IRQ)の確認(Windows 2000の場合)

1

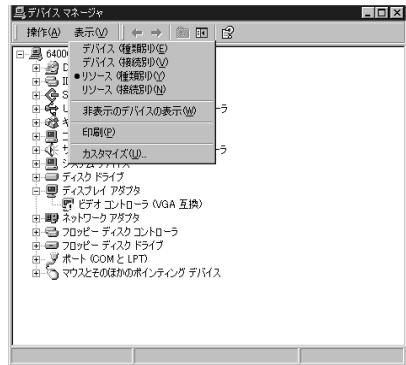
[スタート]メニューから[設定]→
[コントロールパネル]へ進み、
[システム]のアイコンをダブル
クリックし、[システムのプロパ
ティ]を表示してください。

→ [ハードウェア]タブの[デバイス
マネージャ]をクリックします。



2

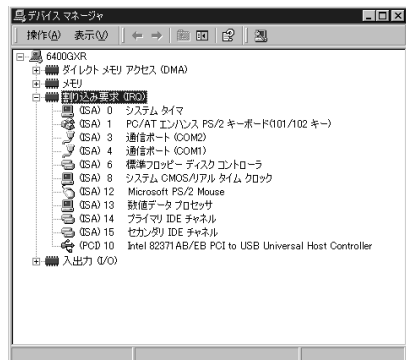
デバイスマネージャの[表示]メ
ニューから[リソース(種類別も
しくは接続別)]を選択してく
ださい。



3

[割り込み要求(IRQ)]をダブルク
リックしてください。

→ 割り込み(IRQ)の空いている(使用さ
れていない)番号を確認します。

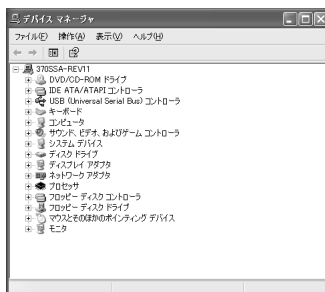


■ 割り込み (IRQ) の確認 (Windows XP の場合)

1

[スタート]メニューの[コントロールパネル]から[パフォーマンスとメンテナンス]へ進み、[コンピュータの基本的な情報を表示する]を選択してください。もしくは[スタート]メニューのマイコンピュータ上で右クリックし、[プロパティ]を選択してください。

→ [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。



2

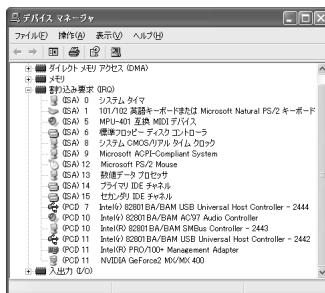
デバイスマネージャの[表示]メニューから[リソース (種類別もしくは接続別)]を選択してください。



3

[割り込み要求 (IRQ)]をダブルクリックしてください。

→ 割り込み (IRQ) の空いている (使用されていない) 番号を確認します。



II

第 2 章 ボードの装着

この章では、VideoGate1000をパソコンへ装着する方法および装着したVideo Gate1000への配線の接続方法について説明します。

2-1	VideoGate1000の装着	10 ページ
2-2	配線と接続	14 ページ

2-1

VideoGate 1000の装着

ボードの装着を行う前に、作業を行うことができるほりのない乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバー、マイナスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

装着の手順

VideoGate 1000をパソコンに装着する手順を説明します。

1

パソコンを終了して電源を切ってください。

2

電源ケーブルとモニターケーブルを取り外してください。



取り外す際に、どのケーブルがどのコネクタに接続されていたか、メモをしておくと後で元に戻す際に便利です。

3

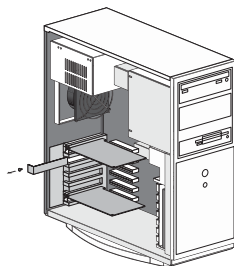
パソコンのカバーを取り外してください。

→ 取り外し方法については、パソコン本体に付属のマニュアルをご覧ください。

4

PCIスロットのカバーを取り外してください。

→ ドライバーを使用してPCIコネクタの位置のスロットカバーを固定しているねじを取り外してください。取り外したねじは手順5で使用しますので、空き箱になくさないように入れておいてください。取り外したスロットカバーは使用しませんので、なくさないように保存してください。

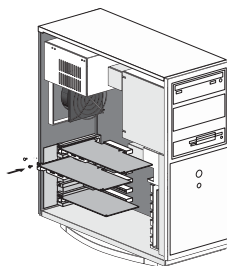


5

VideoGate1000をPCIスロットに差し込み、手順4で取り外したねじを使用して、VideoGate1000のスロットカバーを固定してください。

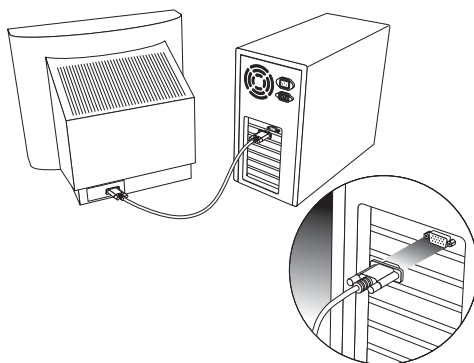
→ 何かに引っかかってうまく差し込むことができない場合には、無理に押し込まないようにしてください。この場合、VideoGate1000をいったん取り外して、引っかかりの原因を確認してください。

※ どうしても何かに引っかかって装着することができない場合には、物理的な問題でVideoGate 1000を使用することはできません。VideoGate 1000はPCIの規格によって設計されているボードですので、パソコン本体に何らかの問題がある可能性があります。この場合には一度パソコン本体メーカーまたはマザーボードメーカーまで対策をご相談ください。



6

パソコンのカバーを閉じ、電源ケーブルとモニターケーブルを接続してください。

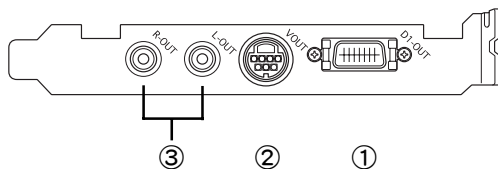


2-2 配線と接続

VideoGate 1000の接続コネクタへの、配線と接続方法について説明します。

接続コネクタ各部の名称と機能

VideoGate 1000には以下の接続コネクタがあります。



① D1-OUT

D1 出力端子です。

② VOUT

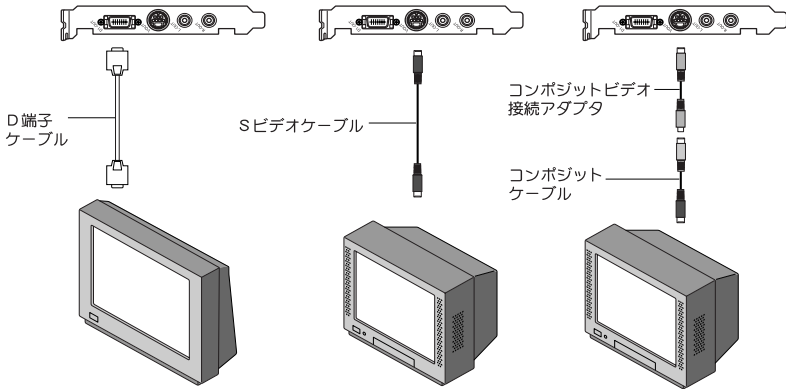
Sビデオ出力端子です。同梱のコンポジットビデオ接続アダプタを利用してコンポジット出力することもできます。

③ L-OUT/R-OUT

音声出力端子です。テレビなどの音声出力機器の音声入力端子と接続します。

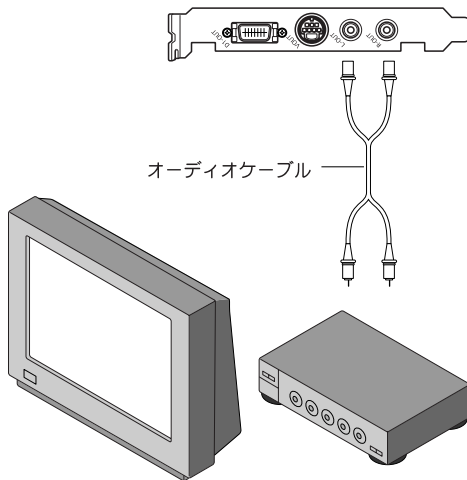
ビデオ出力端子の接続

外部テレビモニタで接続する場合、お使いの機種によって接続する端子が異なります。端子の形状などをご確認の上、お使いの機種にあった接続を行ってください。コンポジット出力する場合は、同梱のコンポジットビデオ接続アダプタを使用します。



オーディオ出力端子の接続

VideoGate 1000の音声出力端子と、テレビモニタの音声入力端子など音声を出力する機器と接続します。



III

第 3 章 インストール

この章では、VideoGate 1000 のドライバとアプリケーションのインストール方法について説明します。

3-1	インストール	18 ページ
3-2	インストール後の確認	35 ページ
3-3	アンインストール	39 ページ

3-1 インストール

Windows 98 SE へのドライバのインストール

ボードを装着してパソコンを起動すると、ハードウェアが認識され、自動的にドライバのインストールが開始されます。

1

パソコンが起動したら、次のウィンドウが表示されます。『VideoGate 1000 Driver & Application CD』を CD-ROM ドライブにセットし、[次へ]をクリックしてください。

※ ここでは CD-ROM ドライブを D: ドライブとして説明します。



2

[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックしてください。



3

[検索場所の指定]をチェックしてください。

※ それ以外のチェックは外してください。



4

検索場所に[D:¥Driver]と入力し、
[次へ]をクリックしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをDドライブとして説明していますが、D:¥Driverになっていますが、たとえばCD-ROMドライブが Qドライブの場合には、Q:¥Driverにしてください。



5

表示内容を確認して[次へ]をクリックしてください。

→ ドライバのコピーが開始されます。



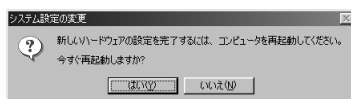
6

ドライバがインストールされると次の画面が表示されますので、[完了]をクリックしてください。



7

設定を有効にするためにコンピュータの再起動を要求してきますので、[はい]をクリックして再起動を行ってください。



以上で Windows 98 SE環境へのドライバのインストール作業は終了です。

Windows Meへのドライバのインストール

ボードを装着してパソコンを起動すると、ハードウェアが認識され、自動的にドライバのインストールが開始されます。

1

『VideoGate 1000 Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットします。

[ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明します。

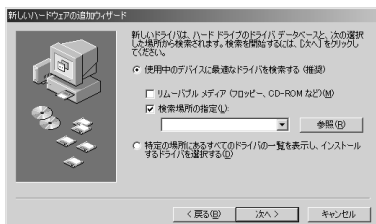
→ ドライバの検索を行い、ドライバをコピーします。



2

[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[検索場所の指定]にチェックをつけてください。

※ それ以外のチェックは外してください。



3

検索場所に[D:¥Driver]と入力し、[次へ]をクリックしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをDドライブとして説明していますが、D:¥Driverになっていますが、たとえばCD-ROMドライブがQドライブの場合には、Q:¥Driverにしてください。



4

[次へ]をクリックしてください。



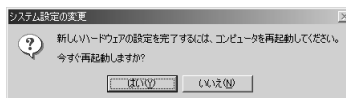
5

[完了]をクリックしてください。



6

設定を有効にするためにコンピュータの再起動を要求してきますので、[はい]をクリックして再起動を行ってください。



以上で Windows Me 環境へのドライバのインストール作業は終了です。

Windows 2000へのドライバのインストール

Windows 2000ドライバをインストールするには、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator等)でログオンしてください。システムの変更を行えないユーザーIDでは、ドライバのインストール作業は行えません。

1

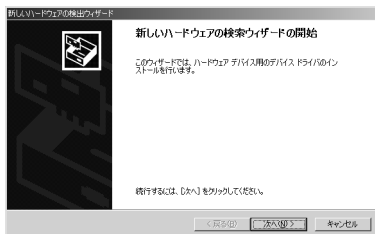
Windows 2000 を起動してください。

→ 新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。

2

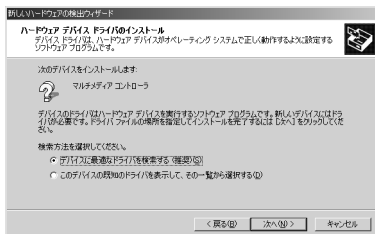
『VideoGate 1000 Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットし、[次へ]をクリックしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明します。



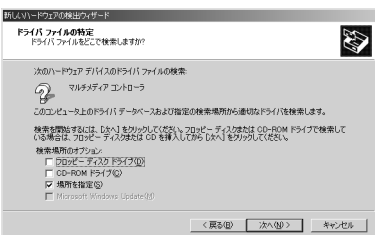
3

[デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]にチェックを付け、[次へ]をクリックしてください。



4

[場所を指定]を選択し、[次へ]をクリックしてください。



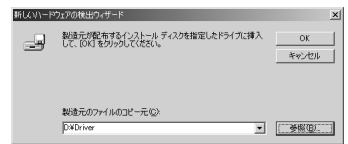
5

ファイルの場所を指定してください。



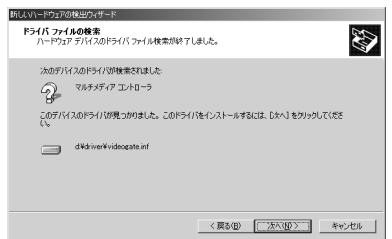
6

ファイルのコピー元が[D:¥Driver]と
なっていることを確認してください。



7

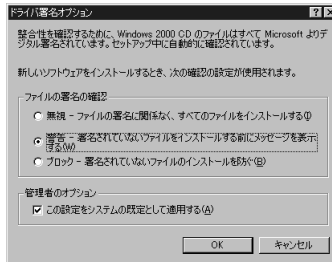
[次へ]をクリックしてください。



[デジタル署名が見つかりませんでした]という画面が表示されますが、**[はい]**をクリックしてください。

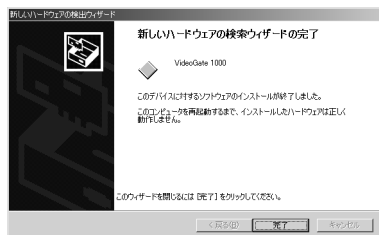


[デジタル署名が見つかりませんでした]という画面が表示された時に**[はい]**が表示されない場合は、以下の手順でドライバ署名のオプションを変更してください。

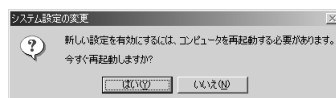


1. コントロールパネルの[システム]をダブルクリックします。
2. [ハードウェア]タブにある[ドライバの署名]をクリックします。
3. [ファイルの署名の確認]を[警告]に変更し、[OK]をクリックします。
※ドライバのインストール後は、設定を元に戻してください。

[完了]をクリックしてください。



設定を有効にするためにコンピュータの再起動を要求してきますので、**[はい]**をクリックして再起動を行ってください。



以上でWindows 2000環境へのドライバのインストール作業は終了です。

Windows XPへのドライバのインストール

Windows XPドライバをインストールするには、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator等)でログオンしてください。システムの変更を行えないユーザーIDでは、ドライバのインストール作業は行えません。

1

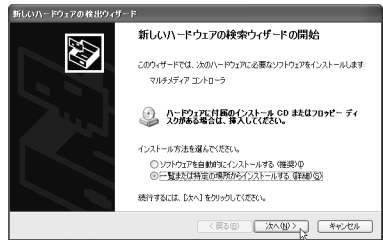
Windows XPを起動してください。

→ 新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されます。

2

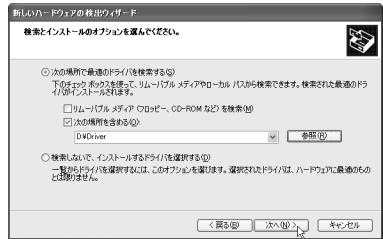
『VideoGate 1000 Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットします。[一覧または特定の場所からインストールする(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明します。



3

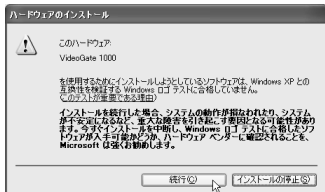
[次の場所を含める]にチェックを付け、テキストボックスに[D:¥Driver]と入力し[次へ]をクリックしてください。



4

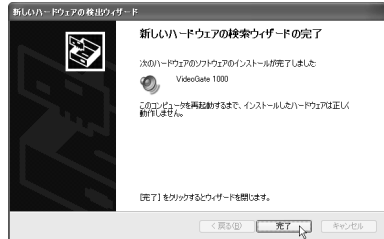
[続行]をクリックしてください。

※ ドライバのコピー中に、ドライバの場所を確認する画面が表示される場合があります。この場合、再度[D:¥Driver]を指定してください。



5

[完了]をクリックしてください。



6

設定を有効にするためにコンピュータの再起動を要求してきますので、[はい]をクリックして再起動を行ってください。



以上で Windows XP 環境へのドライバのインストール作業は終了です。

アプリケーションの一括インストール

VideoGate 1000に関連する全てのアプリケーションを一括でインストールします。Windows 98 SE/Windows Me/Windows 2000/Windows XPとも同様の手順でインストールを行います。ここでは、Windows XPの環境へのインストールを例に説明します。

- ※ Windows 2000/Windows XP環境へインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator等)でログオンしてください。
- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

注意

全てのインストールが終了するまで、『VideoGate 1000 Driver & Application CD』をCD-ROMドライブから取り出さないでください。

1

『VideoGate 1000 Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明します。

2

[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選択してください。

※ Windows Me/Windows 2000環境では、[スタート]メニューから[プログラム] → [アクセサリ] → [エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

※ Windows 98 SE環境では、[スタート]メニューから[プログラム] → [エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

3

CD-ROMを挿入したドライブ (D : ドライブ) を選択して開いてください。

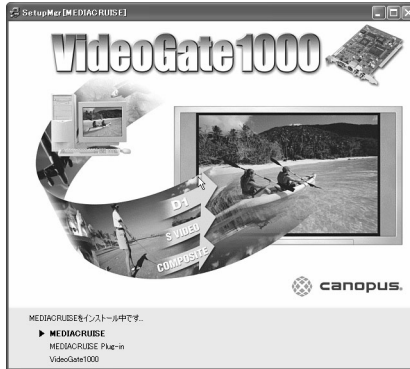
4

[SetupMgr.exe] をダブルクリックしてください。

→ インストール画面と、インストール作業についての画面が表示されます。

注意!

一括インストール時には、次のインストール画面が表示されます。



インストール中にこの画面を閉じると、インストール作業を中止してしまいますので、画面を閉じないようにしてください。

5

画面の指示にしたがってインストールを行ってください。インストール時に表示されるメッセージについては、アプリケーションの個別インストールをご覧ください。

参照

「MEDIACRUISEのインストール」 29ページ

「VideoGate 1000 アプリケーションのインストール」 32ページ

MEDIACRUISEのインストール

MEDIACRUISEをインストールします。『SetupMgr.exe』からインストールしている場合は手順1～4は必要ありません。ここではWindows XP環境へのインストールを例に説明します。

- ※ Windows 2000/ Windows XP環境へインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator等)でログオンしてください。
- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

注意

MEDIACRUISEのインストールが終了するまで、『VideoGate 1000 Driver & Application CD』をCD-ROMドライブから取り出さないでください。

1

『VideoGate 1000 Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明します。

2

[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選択してください。

※ Windows Me/Windows 2000環境では、[プログラム] → [アクセサリ] → [エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

※ Windows 98 SEの環境では、[スタート]メニューから[プログラム] → [エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

3

CD-ROMを挿入したドライブ (D:ドライブ) を選択して開いてください。

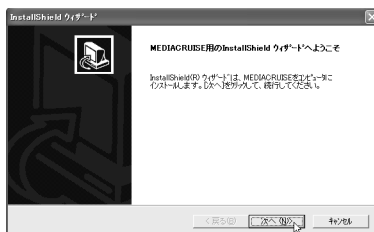
4

[MEDIACRUISE]フォルダ内の[Setup.exe]をダブルクリックしてください。

→ インストール作業についての画面が表示されます。

5

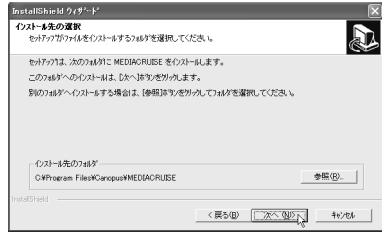
[次へ]をクリックしてください。



6

[次へ]をクリックしてください。

→ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。

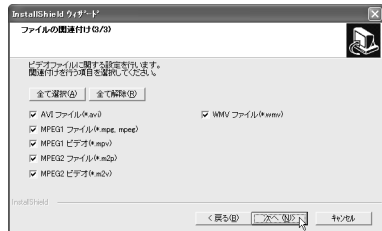
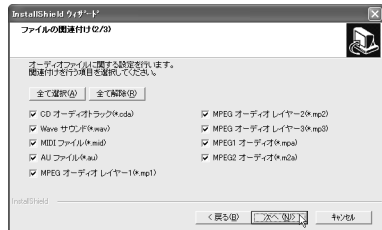


7

MEDIACRUISEに関連付けを行うアイテムを選択してください。

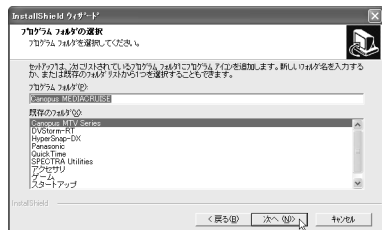
→ ディスク、オーディオファイルおよびビデオファイルのMEDIACRUISEへの関連付けを選択してください。次の項目の設定を行うには、[次へ]をクリックしてください。

※ 選択可能な項目は、お使いの環境により異なります。



8

MEDIACRUISEのアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ]をクリックしてください。



9

インストールオプションを選択し、
[次へ]をクリックしてください。
→ 選択する場合はチェックを付けてく
ださい。



注意

Readme.txtには、マニュアルに記載されていない事項が記載されていますので、インストール時に必ずお読みください。

10

[完了]をクリックしてください。



以上でMEDIACRUISEのインストール作業は終了です。

VideoGate 1000アプリケーションのインストール

VideoGate 1000アプリケーションをインストールします。『SetupMgr.exe』からインストールしている場合は、手順1～4は必要ありません。ここでは、Windows XP環境でのインストールを例に説明します。

- ※ Windows 2000/Windows XP環境へインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator等)でログオンしてください。
- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。



VideoGate 1000アプリケーションのインストールが終了するまで、『VideoGate 1000 Driver & Application CD』をCD-ROMドライブから取り出さないでください。

1

『VideoGate 1000 Driver & Application CD』をCD-ROMドライブにセットしてください。

- ※ ここではCD-ROMドライブをD:ドライブとして説明します。

2

[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選択してください。

- ※ Windows Me/Windows 2000環境では、[プログラム] → [アクセサリ] → [エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。
- ※ Windows 98 SE環境では[スタート]メニューから[プログラム] → [エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

3

CD-ROMを挿入したドライブ (D: ドライブ) を選択して開いてください。

4

[VideoGate1000] フォルダ内の [Setup.exe] をダブルクリックしてください。

→ インストール作業についての画面が表示されます。

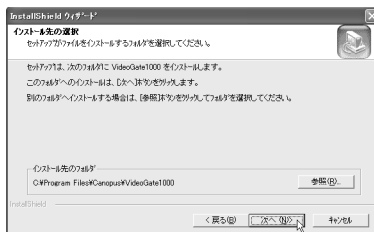
5

[次へ]をクリックしてください。



6

[次へ]をクリックしてください。
→ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



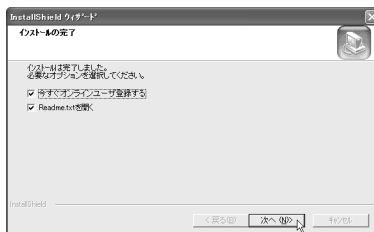
7

VIDEO PLAYERモード時のライン入力をミュートする場合は、チェックを付けて[次へ]をクリックしてください。



8

インストールオプションを選択し、[次へ]をクリックしてください。
→ 選択する場合はチェックを付けてください。

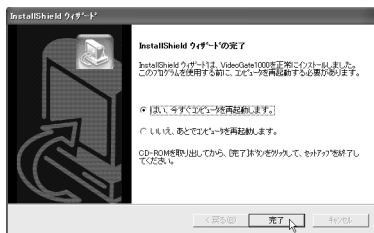


注意

Readme.txtには、マニュアルに記載されていない事項が記載されていますので、インストール時に必ずお読みください。

9

[はい、今すぐにコンピュータを再起動します。]を選択し、[完了]をクリックしてください。



10

[OK]をクリックしてください。



11

[OK]をクリックしてください。



以上でVideoGate 1000アプリケーションのインストール作業は終了です。

3-2

インストール後の確認

ドライバ、ユーティリティのインストールを完了し、再起動後にドライバが正常にインストールされたか確認してください。

確認の手順

■ インストールの確認(Windows 98 SE/Windows Meの場合)

1

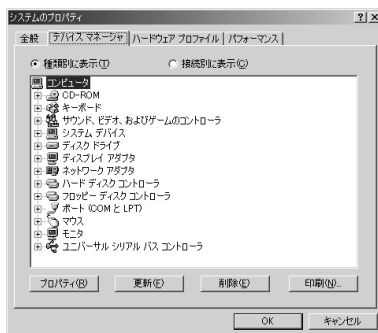
[スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックしてください。

→ [システムのプロパティ]が表示されます。

※ Windows Me環境の場合、「すべてのコントロールパネルを表示する」をクリックすると[システム]が表示されます。

2

システムのプロパティの[デバイス マネージャ]タブを選択し、[種類別に表示]のラジオボタンにチェックが入っていることを確認してください。

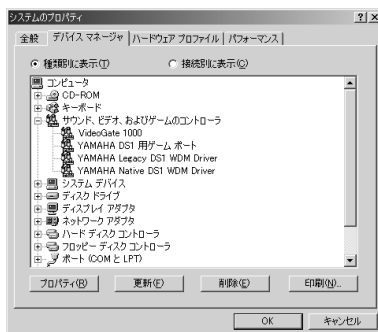


3

[サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ]をダブルクリックしてください。

→ [VideoGate 1000]の頭に『!』や『×』のマークが表示されている場合、VideoGate 1000のドライバが正常にインストールされていません。

※ 再インストール、リソース問題の解決やボードの差し位置の変更などをお試しください。

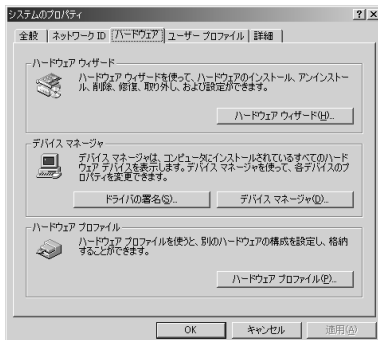


■ インストールの確認(Windows 2000 の場合)

1

[スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックしてください。

→ [システムのプロパティ]が表示されます。[ハードウェア]タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックしてください。

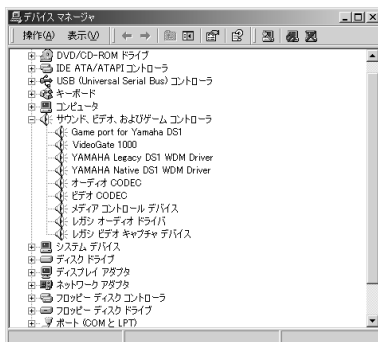


2

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックしてください。

→ [VideoGate 1000]の頭に『!』や『×』のマークが表示されている場合、VideoGate 1000のドライバが正常にインストールされていません。

※ 再インストール、リソース問題の解決やボードの差し位置の変更をお試しください。



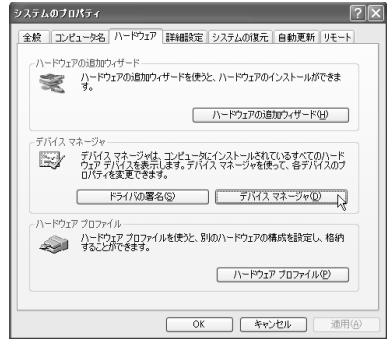
■ インストールの確認 (Windows XP の場合)

1

[スタート]メニューの[コントロールパネル]から[パフォーマンスとメンテナンス]へ進み、[コンピュータの基本的な情報を表示する]を選択してください。もしくは[スタート]メニューのマイコンピュータ上で右クリックし、[プロパティ]を選択してください。

2

[ハードウェア]タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックしてください。

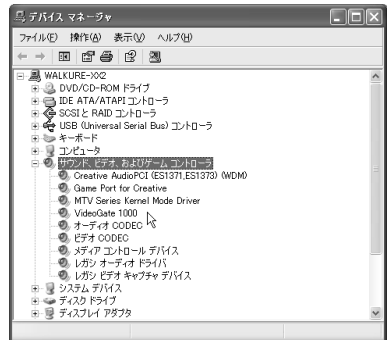


3

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックしてください。

→ [VideoGate 1000]の頭に『!』や『X』のマークが表示されている場合、VideoGate 1000のドライバが正常にインストールされていません。

※再インストール、リソース問題の解決やボードの差し位置の変更をお試しください。



リソース

■ リソースの競合の確認

p.7[■割り込み(IRQ)の確認(Windows 98 SE/Windows Me)]、p.8[■割り込み(IRQ)の確認(Windows 2000)]およびp.9[■割り込み(IRQ)の確認(Windows XP)]の手順を参照し、IRQの一覧を表示してください。競合もしくは共有(IRQ番号が同じ)しているデバイス類がないか確認してください。

■ リソース(割り込み)の変更

VideoGate 1000と他のデバイス類のリソースが競合もしくは共有している場合、正常動作しないことがあります。以下の方法をお試してください。

- ・割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器のIRQの変更を行ってください(IRQステアリングフォルダとの共有は問題ありません)。
- ・パソコン本体(マザーボード)のBIOSでリソースの設定を変更してください。BIOSの設定方法は各メーカーによって異なりますので、パソコン本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書をご参照ください。



IRQの設定方法はパソコン、マザーボードなど各メーカーにより異なります。BIOSでPCIスロットごとに任意のIRQを割り当てるタイプや、特定のIRQをあらかじめ予約するタイプなどがあります。

3-3

アンインストール

VideoGate 1000のアプリケーションを使用しなくなった場合、アンインストールすることができます。アプリケーションのアップデートを行う場合は、アンインストール後に新しいアプリケーションのインストールを行うようにしてください。

ここでは、Windows XP環境でのアンインストールを例に説明します。

※アンインストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

1

[スタート]メニューから[マイコンピュータ]へ進み、システムのタスクから[プログラムの追加と削除]をクリックしてください。

2

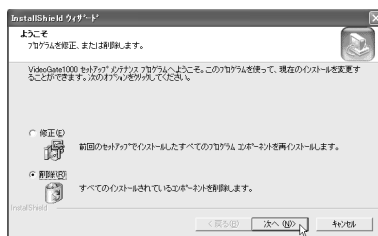
削除できるソフトウェアの一覧が表示されますので、[MEDIACRUISE]または[VideoGate 1000]を選択し、[変更と削除]をクリックしてください。

※ここでは[VideoGate 1000]を選択した場合について説明します。[MEDIACRUISE]を選択した場合も手順は同じです。



3

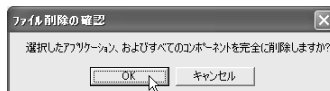
[削除]を選択し、[次へ]をクリックしてください。



4

ファイル削除確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてください。

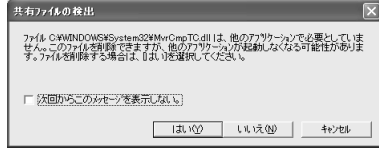
→ アンインストールを開始します。



5

アンインストール中に [共有ファイルを検出] ダイアログが表示される場合、ファイルの削除実行、中止を個別に選択してください。

※ [はい]を選択した場合も、[いいえ]を選択した場合もアンインストールは続行されます。[キャンセル]を選択した場合は、アンインストールを中止します。



6

[完了]をクリックしてください。



7

[閉じる]をクリックしてください。
→ アンインストールは完了です。



IV

第 4 章 基本操作

この章では、VideoGate 1000の基本操作について説明します。

4-1 基本操作

42 ページ

4-1

基本操作

VideoGate 1000を使用する

ここでは、例としてVideoGate 1000 Driver & Application CDに収録されているカラーパターンMPEGファイルを使用して、VideoGate 1000でビデオ出力を行う手順を説明します。ファイルの再生、ビデオ出力設定には、MEDIACRUISEを使用します。

1

[スタート]メニューから[プログラム]→[Canopus MEDIACRUISE]と進んで『MEDIACRUISE』を選択してください。

→ MEDIACRUISE が起動します。

2

メインコントローラの[VIDEO]ボタンをクリックしてください。



3

[VIDEO RECORDER]タブをクリックしてください。



4

MEDIACRUISE上で右クリックし、メニューから[プラグイン]を選択してください。



5

Video Player-MPEGを[VideoGate 1000]に設定し、[OK]をクリックしてください。

※ 画面はお使いの環境により異なります。



6

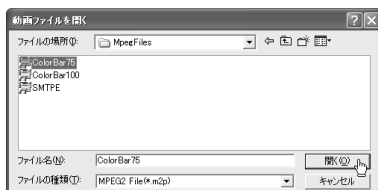
ファイルボタンをクリックしてください。



7

再生するMPEGファイルを選択し、[開く]をクリックしてください。

※ 『VideoGate 1000 Driver & Application CD』の[Mpeg Files]フォルダにカラーパターンMPEGファイルを収録しています。



8

ファイルの再生が開始した場合は、停止ボタンをクリックしてください。



9

オプション設定ボタンをクリックしてください。



プレイバック時の設定を行い、[OK]
をクリックしてください。

→ 出力デバイスは、[VideoGate 1000]
を選択します。



オーバーレイを表示しない

チェックを付けた場合、オーバーレイ表示を行いません。

停止中に最終フレームを表示する

チェックを付けた場合、プレビュー時に[停止]ボタンをクリックすると最終フレームを表示します。表示しない場合は、パソコンモニター側テレビモニター側ともに黒い画面になります。スライドバーを操作時にも適用されます。

バッファリング状況とエラーを表示する

チェックを付けた場合、画面に左上にフレームバッファリングのメッセージを表示します。

YUV変換をフィールド優先で行う

動きが激しい映像の場合に選択します。

YUV変換をフレーム優先で行う

動きが少ない映像の場合に選択します。

再生ボタンをクリックしてください。

→ ビデオ映像の出力を開始します。再生をやめる場合は、停止ボタンをクリックします。



ボリューム調整コントローラ

ボリューム調整コントローラで、VideoGate 1000の出力端子からのボリュームはコントロールできません。
このコントローラは、オーディオミキサーデバイス（サウンドボード）のコントロールを行うものです。

MTVシリーズと併用する-その1-

VideoGate 1000とMTVシリーズを併用することで、オンザフライ・プレビューが可能になります。ビットレートやフィルタ等、MTVシリーズのキャプチャパラメータの画質設定が即座にビデオ出力映像に反映されます。プレビュー時には音声の出力は行えません。



オンザフライ・プレビューには、MTVシリーズのアプリケーションver.1.10以降が必要です。お使いのアプリケーション情報は、Readme.txt等でお確かめいただけます。



[スタート]メニューから[プログラム]→[Canopus MEDIACRUISE]と進んで『MEDIACRUISE』を選択してください。

→ MEDIACRUISE が起動します。



サスペンドには対応していません。



『VideoGate 1000を使用する』を参照し、ファイルの再生準備を行ってください。

プレビューボタンをクリックしてください。



パラメータ設定後、[開始]をクリックしてください。[開始]クリック後も、設定を変更すると内容に応じて画面に反映されます。

※ プレビューには、CPUの処理能力をかなり必要とします。お使いの環境によっては、設定変更後に停止する場合があります。この場合は、設定後再度[開始]をクリックしてください。



お使いのボードにより設定項目は異なります。ここで設定された内容はMTVシリーズのビデオ入力調整には反映されません。このパラメータを利用して、MTVシリーズのビデオ入力調整に反映する手順は、p.48『MTVシリーズと併用する-その2-』をご参照ください。

4

パラメータ設定後、[開始]をクリックしてください。設定内容を再度変更する場合は、[停止]をクリックしてください。ただし、プレビュータブの設定は変更可能です。

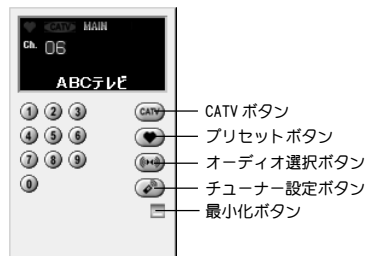


オンザフライ・プレビュー時には音声が出力されません。
オンザフライ・プレビューはMPEG 2のみ行えます。

5

入力ソースを[チューナ]に設定した場合は、リモコンウィンドウのボタンを操作することで、チャンネル切換えなどを行うことができます。

※ リモコンウィンドウ上のボタン類とMEDIACRUISEのものと同じものです。



6

オンザフライ・プレビューを終了する場合は、[停止]をクリックしてください。



オンザフライ・プレビューは遅延が3秒以上になると、自動的に再開します。



保存したパラメータ設定を開きます。[ファイルを開く]画面から読み込むファイル名を選択します。



パラメータ設定を保存します。[名前を付けて保存]画面でファイル名を入力し、保存します。

デフォルト(D)

パラメータ設定をデフォルト値に戻します。

MTVシリーズと併用する-その2-

VideoGate 1000のプレビュー設定値は、ファイル保存することができます。このパラメータファイル(mvrファイル)を利用して、設定値を次回起動時に活用したりMTVシリーズのソース設定に反映することができます。ここでは、パラメータファイルをMTVシリーズに反映する手順を説明します。

注意!

パラメータファイルは、MTVシリーズのボード間に互換性がありません。例えばMTV1000とVideoGate 1000を使用して作成したパラメータファイルをMTV2000で利用することはできません。

1

『MTVシリーズと併用する-その1』を参照して、プレビュー設定画面を表示してください。

※ 設定値が引き継げるのは、この設定画面で設定できるパラメータとなります。



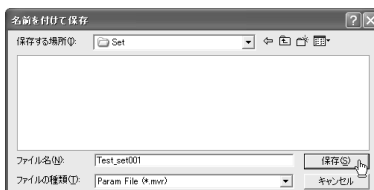
2

ファイルを保存する場合は、パラメータ設定後にファイル保存アイコンをクリックしてください。

※ お使いのボードにより設定できる項目は異なります。



保存場所を指定してからファイル名を入力し、[保存]をクリックしてください。





パラメータファイルを読み込む場合は、ファイルを開くアイコンをクリックしてください。



読み込むファイル名(mvrファイル)を指定し、[開く]をクリックしてください。



3

[MTV]タブをクリックしてください。



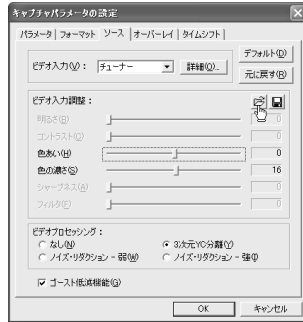
4

[SOURCE]ボタンをクリックしてください。



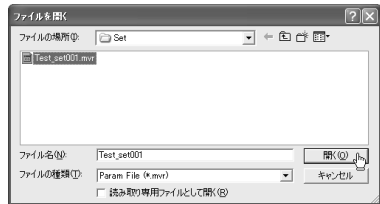
5

ファイルを開くアイコンをクリックしてください。



6

読み込むファイル名(mvrファイル)を指定し、[開く]をクリックしてください。



7

パラメータ設定値が反映されたことを確認し、[OK]をクリックしてください。

